

～法改正が目指す方向性とフォロワーシステムの実践から考える～ 支援付き意思決定が保障された未来像とは？

フォロワーシステムを活用した高齢者・障害者の意思決定支援モデル事業



2025年度

意思決定支援 実践シンポジウム

2026年2月7日(土) 13:00～17:30 参加無料

障害者権利条約の批准以降、日本では本人の意思を起点とする支援への転換が求められています。2022年の国連審査では、成年後見制度に依拠した「代行決定」への懸念が示され、支援付き意思決定の制度整備が強く勧告されました。このような背景を踏まえ、現在は社会福祉法改正において「中核機関」や「新たな権利擁護支援事業」の法制化が検討される重要な局面を迎えています。

一社)日本意思決定支援ネットワーク(SDM-Japan)はこのような動きと連動し、全国の自治体・団体と協働しながら、フォロワーシステムを用いた支援付き意思決定の地域実装に取り組んできました。フォロワー(意思決定支持者)は、障害のある当事者を含む市民が、本人にとって「気の合う友人」のような関係性を築き、本人の心からの希望や選好、価値観を支持しながら、本人と一緒にその思いを届けていく存在です。豊田市での先行実践に基づき、現在は埼玉県鶴ヶ島市、北海道津別町及び神奈川県相模原市など各地で、事務局や会議体の構築、フォロワー育成、事業評価体制の整備その他継続的な活動を支える多様な取組みが進んでおり、制度では捉えきれない「関係性の力」が地域に新たな可能性を生み出しています。

本シンポジウムでは、社会福祉法改正が目指す方向性と、各地で実践されているフォロワーシステムの実践を重ね合わせながら、支援付き意思決定が保障された社会の未来像を多角的に検討します。今年度は、取材動画を交えて実践のリアルを可視化し、制度化によって何を守り、何を広げるべきかを議論します。

会場：Zoom、YouTubeライブ配信による全国オンライン中継

対象：成年後見制度や意思決定支援の動向に関心のある自治体、中核機関、社会福祉協議会、NPO/NGO職員、これらの活動に携わる専門職、障害のある当事者・団体、市民等

定員：オンライン方式 無制限

参加費：無料

※SDM-Japanサポーターへのご加入をぜひご検討ください！ → → → → → →
<https://readyfor.jp/projects/expressedwish>



申込先：SDM-Japan 特設Webサイト（右記QRコード）→ → → → → → → → → →
<https://sdm-japan.net/what-we-do/local-government-projects/symposium2025>



締切：2026年2月2日（月）

プログラム：裏面に記載

主催：一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク (SDM-Japan)



【問い合わせ】
SDM-Japan 事務局
info@sdm-japan.net

プログラム ※登壇者（敬称略）及び内容については変更の可能性があります。

13:00～13:10 【開会あいさつ・趣旨説明】

名川 勝 一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク（SDM-Japan）代表理事

13:10～14:35 【第一部】鼎談（85分）

テーマ：社会福祉法改正と支援付き意思決定－新たな権利擁護支援事業とフォロワーシステムの運動

登壇者：

大口達也 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 成年後見制度利用促進室 成年後見制度利用促進専門官

木本光宣 特定非営利活動法人ユートピア若宮理事長

永田 祐 同志社大学社会学部教授

コーディネーター：

水島俊彦 SDM-Japan副代表理事、成年後見制度利用促進専門家会議委員

主な論点：

- ・国モデル事業の設計思想と「新たな権利擁護支援事業」に向けた法改正議論の状況
- ・「新たな権利擁護支援事業」とフォロワーシステムとの接続可能性
- ・当事者視点からの制度化の期待と懸念

14:35～14:50 【休憩】（15分）

※第1部アンケートのご協力をお願いします。

14:50～17:20 【第二部】実践報告とディスカッション（150分）

14:50～15:50 実践報告（60分）

(1)趣旨説明：映像で見るフォロワーシステムの実際

水島俊彦 SDM-Japan副代表理事

(2)各地からの実践報告

鶴ヶ島市、津別町、かながわ共同会各担当者×SDM-Japan担当ファシリテーター

- ・フォロワーの実践とフォロワーシステムの構築状況

- ・現在の課題と今後の展開 等

15:50～17:20 パネルディスカッション（90分）

テーマ：フォロワーシステムは本当にどの地域でもできる？

—フォロワー等の活動によって、地域はどのように変わらるのか？—

パネリスト：

安藤 亨 豊田市福祉部よりそい支援課地域共生・社会参加担当長

大瀧英樹 生きづらさを抱えた当事者会「あいあらっく」代表

寺口祐司 新潟県社会福祉協議会主査

永田 祐 同志社大学社会学部教授

花俣ふみ代 公益社団法人認知症の人と家族の会副代表理事

牧野郁子 鶴ヶ島市社会福祉協議会主幹／鶴ヶ島市権利擁護支援センター

コーディネーター：

名川 勝 SDM-Japan代表理事

17:20～17:25 【閉会あいさつ】

水島俊彦 SDM-Japan副代表理事

17:25～17:30 【事務連絡】

※アンケートのご協力をお願いします

17:30

【閉会】